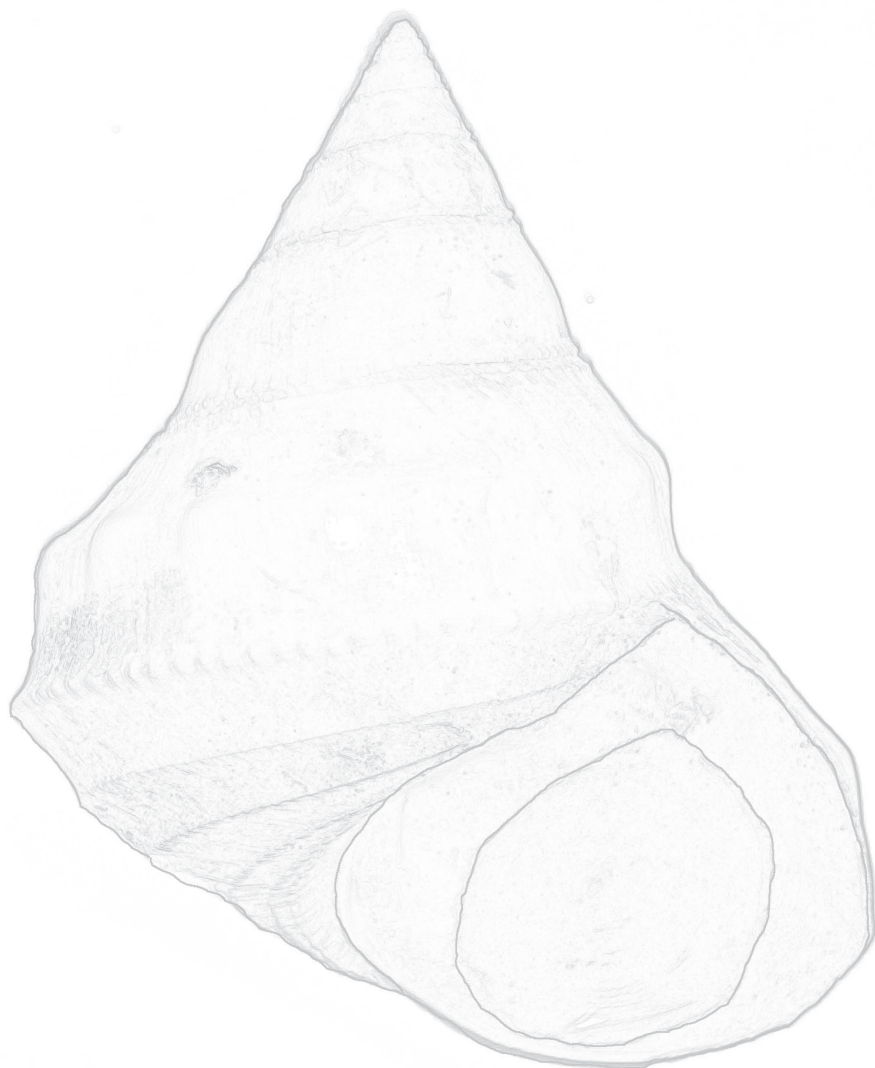




生命の星・地球博物館の標本 de めりえ

- ① 写真を参考にしながら本物と同じような色合いにぬってみましょう。
- ② 空想力をはたらかせ「こんな色の生きものがいたらいいな」と思いながら自由にぬってみましょう。



ギンエビス

Ginebis argenteonitens (Lischke, 1872)

生きているときは銀色の地に虹色の光沢を示す、大変美しい巻貝です。本州沿岸から東シナ海にかけての水深 50m 以深に生息し、多くは水深 200m 以深の深海から採集されます。

学名の *Ginebis* は日本語の「ギンエビス」に由来し、*argenteonitens* はラテン語で「銀色の輝き」を意味します。



【ポイント】写真では表現し切れないのですが、乳白色から銀色のような地に虹色の光沢があるのがわかりますか？ フタにもうっすらとした同心円状の模様があります。



神奈川県立 生命の星・地球博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History